

格盟国際能源有限公司の権益買収について

当社は、中華人民共和国の発電事業等エネルギー関連への投資会社である格盟国際能源有限公司（資本金：100億人民元、以下「格盟公司」）の権益について、ドイツキャピタル香港Ltd.（以下「ドイツ銀行」）が保有する持分19%のうち3%を買収することとし、本日（8月7日）、中華人民共和国山西省太原市において、ドイツ銀行との間で、出資金持分譲渡契約に調印しました。

本件は、当社として、海外の発電事業に参画する初のケースとなります。

【権益買収の目的】

- 格盟公司の今後の事業展開（石炭火力の開発、炭鉱会社への投資等）により、一定の利益を見込める。
- 格盟公司の事業活動へ参画することを通じて、今後の海外事業展開に資する各種ノウハウを獲得することができる。
- 格盟公司が保有する石炭火力発電設備（中国国内の10発電事業会社）および今後の石炭火力開発において、当社の有する石炭火力技術や環境技術を活かすことで、格盟公司の事業計画を更に改善できる可能性がある。

≪参考資料≫「[格盟公司の概要](#)」

以上

格盟公司の概要

1. 正式名称
格盟国際能源有限公司
(英語名: Gemeng International Energy Co.Ltd)
2. 設立
2007年4月
3. 所在地
中華人民共和国 山西省 太原市



4. 資本金
100億人民幣元
5. 出資者
山西国際能源集团有限公司※ 47% ※ 以下「山西国能公司」
韓国電力公社 34%
ドイツ銀行 19%
6. 董事長
郭明 (Guo Ming)
7. 経営目的
合併会社を組成する各出資者が、保有する電力およびエネルギー分野における投資・建設・運営等のノウハウの共通を通じて、法律の許す範囲で、中国国内外において、各種エネルギー関連案件(発電案件、炭鉱案件など)に参画していくこと。
8. 設立経緯
山西省政府は、中国一の産炭地である強みを背景に、電力企業の育成を企図し、その目的を短期間に実現するため、外資の導入を目論み、同社を設立。
格盟会社の発足時の資産は、100%山西省政府出資の山西国際電力有限公司から、主として、同会社が最大の出資者となっている資産を中心に買収(移転)して形成。
9. 現有資産
発電事業会社10社(34ユニット、持分出力約430万kW)
10. 売上高
32.5億人民幣元(2008年)
11. 今回の参画に伴う出資内訳の異動

出資者 (旧)		出資者 (新)	
山西国能公司	47%	山西国能公司	47%
韓国電力公社	34%	韓国電力公社	34%
ドイツ銀行	19%	ドイツ銀行	9%
計	100%	電源開発	7%
		中国電力	3%
		計	100%

(計 10%)

 7%

 3%